

**日本セーリング連盟・2009年度ナショナルチーム（日本代表）
決定のお知らせ**
—— ロンドンオリンピックを目指す6艇種・男女32名選手 ——

財団法人日本セーリング連盟 (<http://www.jsaf.or.jp/> 会長：山崎達光) は2012年ロンドンオリンピックを目指す2009年度ナショナルチーム（以下：2009NT）6艇種8種目男女32名を決定しました。

2009NTは同時に2009年度各種目の世界選手権日本代表選手となります。

32名の詳細は別添リストのとおりですが、オリンピックイヤーの昨年と比して32名の内約半数の17名が入れ替わっています。

【470級女子】 (世界選手権：8月20日～30日・デンマーク)
北京五輪日本代表（14位）の近藤愛（28歳・アビームコンサルティング）が長くコンビを組んできたクルーの鎌田奈緒子の引退に伴い新たに田畑和歌子（25歳・福岡経済大学職員：2008NTスキッパー）をクルーに迎え新チームを結成、ロンドンをめざします。近藤組は過日の和歌山NT選考会では宿敵・吉迫由香（29歳）・大熊典子（29歳）組（ベネッセコーポレーション）を1点差でおさえ首位を獲得。結成間もないチームながら両選手のポテンシャルの高さを示しました。近藤組と吉迫組の力量は世界レベルにあり、ほぼ互角です。ロンドンまでの長い戦いが続きます。3番手の平井・栗栖組は現役日本大学コンビです。

【470級男子】 (世界選手権：8月20日～30日・デンマーク)
北京五輪・女子・近藤組の練習パートナーをつとめていた原田龍之介（23歳）吉田雄悟（25歳）組（アビームコンサルティング）が大きく成長して、昨年の全日本選手権に優勝。いち早く初の2009NTの座を獲得しました。選考会でも先輩選手組をおさえて堂々たる優勝を飾りました。2番手の石川裕也（25歳）・柳川祥一（31歳）組（関東自動車工業）は両者とも2008NTで別々のチームを組んでいましたが今回から正式にコンビを組みました。北京五輪では同級7位に入賞した松永鉄也・上野太郎日本代表組（スリーボンド：両者とも五輪後に種目を引退）の練習パートナーをつとめ、入賞の影の立役者と言われました。

【ウインドサーフィン・RS:X級】 (世界選手権：8月30日～9月11日・英国)
・女子の第一人者・小菅寧子（北京五輪13位）がNT活動を中断しているため、実力ほぼ互角の須長由季（28歳・ミキハウス）と大西富士子（25歳・TEARS ONS）の戦いがこれからは続きそうです。長く国体艇級で活躍してきた高木未散（30歳）が今年からRS:X級に乗り換えました。慣れてきたら怖い存在です。

・男子は選考会でも世界ランカー（北京五輪10位）に恥じない圧倒的な走りを見せた富澤慎（24歳・関東自動車工業）が別格的存在です。

【レーザー級】 (世界選手権：8月17日～26日・カナダ)

北京五輪代表の飯島洋一が引退したこともあり、2008NTメンバーとはすっかり入れ替えとなりました。2009NT3番手のHALL IAN（ホール・イアン 24歳・福岡経済大学）は米国人の父親を持つ日本国籍です。3月、大学を卒業します。

【レーザーラジアル級】（世界選手権：7月25日～8月2日・日本・唐津）

2008NTからただ一人、蛭田香名子（23歳・琉球大学）が2009NTの一番手を獲得しました。

【49er級】（世界選手権：7月12日～19日・イタリア）

北京五輪代表（12位）の石橋・牧野組のクルーをつとめた牧野幸雄（28歳）が関東自動車工業に入社、同社の2008NT・高橋賢次（26歳）をクルーとして新チームを結成。スキッパーとしてデビューして2009NTの1席を獲得しました。

【スター級】（世界選手権：7月30日～8月9日・スウェーデン）

惜しくも北京五輪出場を逃した鈴木国央（32歳・和歌山セーリングクラブ）・和田大地（34歳・日吉染業）組が2008NTに続き、不動の席を獲得しました。

以上